

上勝町での学びをヒントにキャンパスでできるゼロウェイスト活動を考える

それ、本当に「ゴミ」？ 「ゴミ」と呼ぶ前にできること

—上勝町フィールドワーク第1回報告会—

世界的に注目を集めるゼロ・ウェイストの町、上勝町。そこでは「ごみ」という言葉は使われず、「資源」や「どうしても燃やさなければならないもの」と捉え直され、44種類に及ぶ分別やプラスチックの洗浄といった、一見すると非効率で「面倒」にも思える営みが住民の手によって20年以上続けられている。今回、現地でその最前線の知恵に触れた学生たちが、矢上キャンパスを舞台に「次世代の分別のあり方」を提案します。

登壇者メンバー

- ・フィールドワーク参加学生（1期生）
- ・大塚 桃奈 氏 / 丸岡 直樹 氏 ((株)BIG EYE COMPANY)
- ・牛場 順一 氏(理工学部教授)
- ・鈴木 圭輔 氏(理工学部管財課)

フィールドワークに参加した学生の声

「言葉が変われば、意識が変わる」

『燃えるごみ』という言葉がキャンパスから消したら何が起きるか。
(理工学部・Sさん)

「環境をマネタイズする」

理想論ではないビジネスとしての循環モデルをどう矢上に持ち込むか。
学部・Kさん)

こんなことを考えます

上勝の
最前線から学ぶ
「気づき」

ゼロ・ウェ
イストハブ
のあり方を
再定義

キャンパス
のごみ分別
の仕組み自
体を見直す

違和感に
気づき
問いを持つ

上勝町のゼロ・ウェイストの取り組み紹介と研修の振り返りをもとに、学生による提案発表と講評を行い、最後は参加者全員で実装に向けた議論とアクション整理まで踏み込みます。

参加方法

STEP
1

参加フォームに登録（必須）

当日参加 / 途中入退場もOK
フォームの登録だけお願いします！

<https://forms.gle/SaChMEsqGExaVRmT6>



STEP
2

会場現地または Zoomで参加

<https://keio-univ.zoom.us/j/84809433630?pwd=3R0Ka9calDL15P1OwYoUp6p0h7a4Xw.1>



本イベントに関するお問合せ YIL運営推進室 : yil-keio@adst.keio.ac.jp



2026年 参加無料！
5月14日 木
10:30~11:30
 場所：YILイベントスペース
 (オンライン参加可能)

